

75 歳以上医療費窓口負担 2 割化撤回を求める請願署名

政府は、2020 年 12 月 15 日の閣議で、75 歳以上の医療費窓口負担について年収 200 万円以上（単身世帯の場合）の約 370 万人を 1 割から 2 割に引き上げることを決めました。関連法改正案を今通常国会に提出し、2022 年度後半に引き上げを実施する構えです。

そもそも社会保障給付は国民の権利であり、高齢者は長年にわたって社会保険料や税金を収めて来ています。「現役世代への給付が少ない」のは、政府の責任です。高齢者給付の増大が、現役への給付が不十分な要因ではありません。世代間対立をあおらないでください。

1 割負担でも深刻になっている高齢者の受診控えが、コロナ禍の中の受診抑制と重なり、高齢者の命と健康をどのように守るのが今問われています。このような時に、窓口負担を引き上げるのは、受診控えに追い打ちをかける政策です。

「負担能力に応じたものへと改革していく」というのなら、税や社会保険料での徹底こそが求められます。高額所得者からの保険料を能力に応じた負担とすべきです。また、国の社会保険財源の確保を消費税と「働き方」改革ではなく、「兵器爆買い」など軍事費等の無駄を省くこと、早期発見、早期治療や薬価の見直し、大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきです。よって以下の事項を請願します。

請願事項

75 歳以上の医療費窓口負担 2 割化の撤回を求めます

住 所 _____

団体・代表者名 _____

* この署名用紙は、衆議院議長・参議院議長の要請以外の目的には使用しません。

取り扱い団体 京都社会保障推進協議会 (_____)

京都市中京区壬生仙念町 3 0 - 2 ラポール京都 6 F 京都医労連内
tel:075-801-2526/fax:075-811-6170/mail:shahokyo@labor.or.jp